

第4学年 学級活動（2）指導案

1 題材名 インターネットを安全に利用しよう

2 題材について

○ 現代社会は情報化が進み、子どもたちが情報端末機器（パソコンや携帯電話、スマートフォン）に触れることも日常化している。それに伴い、掲示板やメールが原因で子どもがトラブルに巻き込まれる事例も後を絶たない。その背景には、パソコンや携帯電話、スマートフォン等で子どもがインターネットに触れることが容易になっているにもかかわらず、ネット社会で自分の身を守るための知識や正しいマナーが子どもの中に備わっていないことが大きな要因になっていると考えられる。そこで、本主題では、インターネットの正しい利用の仕方と、ネット社会に潜む危険回避のための知識を身につけさせていきたいと考えている。

○ 本学級の子どもたちは、これまで理科や社会科、総合的な学習の時間を中心に、インターネットを使った調べ学習を経験している。しかし、それは学期に数回程度の経験で、どの子も十分に経験を積んでいるとは言い難い。子どもたちに実施したアンケートでは、家庭にパソコンがある子どもは34名中32名。そのうち子ども自身が家庭でインターネットに接続することがあると答えた子は16名であった。使用頻度についてはほとんど毎日使っていると答えた子が5名いる反面、ほとんど使わないと答えた子が9名おり、パソコンの操作技能やインターネットに関する経験に個人差が大きくあることが分かった。

自分用の携帯電話（スマートフォン含む）を持っている子は10名。パソコン、携帯電話を合わせると34名中21名の子どもが少なくとも月に数回程度家庭でインターネットを利用しているが、何らかのルールを決めている家庭は6名で、インターネットでのトラブルに対しての知識を持っている子はきわめて少ないと考えられる。

○ 指導にあたっては、子ども間にあるインターネットに関わる経験の差を考慮する必要がある。そこで、導入の場面で、タブレット型モバイル端末のアプリ「ネット社会の歩き方」を活用し、インターネットを利用してトラブルに巻き込まれた事例を疑似体験させたい。そして、自分が事例のツバサくんの立場だったらどうするかを考えさせる。

その上でツバサ君のインターネット利用の仕方について、よくなかったところをグループで話し合わせる。話し合いの後、事例の場面ごとによくなかったところを発表させ、黒板に短冊を貼ることで確認していく。

次に、事例を元にしながら、インターネットを安全に使うためのクラスのルールを作る。はじめに個人で考え、それを交流しクラスのルールを作る。①個人情報教えない②情報が正しいか判断する③困った時は大人に相談するの3点は確実に押さえるようにする。

最後に、学習のまとめを行う。「今日の学習で」を、わかったこと、思ったこと、今後のインターネット利用をどうするか、の観点で書かせる。

3 目標

インターネットの正しい利用の仕方や注意点を知り、インターネットを安全に利用していくための知識や態度を育てる。

4 本時 2012年 月 日（ ）

5 準備

- ・タブレット型モバイル端末 ・プロジェクター
- ・アプリ ネット社会の歩き方「住所や電話番号をおしえるのはしんちょうに」
(<http://www.cec.or.jp/net-walk/> 一般財団法人 コンピュータ教育推進センター より)
- ・事例の拡大資料 ・掲示用短冊 ・ワークシート

学習活動	教師の支援
<p>1 インターネットについて想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでのインターネットの経験の想起 ○ インターネットの利便性の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ すぐにどんな事でも調べられる ・ 遠くの人とつながることができる ・ 家にいながら買い物ができる <p>2 事例のアニメを見て、問題点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事例の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ ツバサくんの立場になって ・ 自分だったらどうするか ○ めあての確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今までのインターネットを使った経験をもとに想起させる。 ○ ツバサくんの立場になって考えるように助言する。 ○ 場面ごとに拡大した絵を黒板に掲示し、事例を整理する。
<p>めあて</p> <p>どうすればインターネットを安全に利用できるか考えよう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用の仕方についての話し合い <ul style="list-style-type: none"> ・ よくなかったところ→短冊 ○ 問題点の場面ごとの確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ うその情報を信じたこと ・ 個人情報（住所・名前・電話番号）を入力したこと ・ 親に相談しなかったこと <p>3 インターネットの使い方について、クラスのルールをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 個人で ○ クラスで話し合い <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報は教えない ・ 正しい情報が確かめる ・ 困った時は親や先生に相談する <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事例を想起して考えるように助言する。 ○ 場面ごとにツバサくんにアドバイスをするという形でよくなかったところを書かせる。 ○ 事例と自分の日常生活をつなげて考えるように助言する。
<p>まとめ</p> <p>ルールを守れば、インターネットは安全に利用することができる。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の学習で 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習で分かったこと、思ったこと、今後のインターネット利用にどういかしていくかという観点で「今日の学習で」を書かせる。

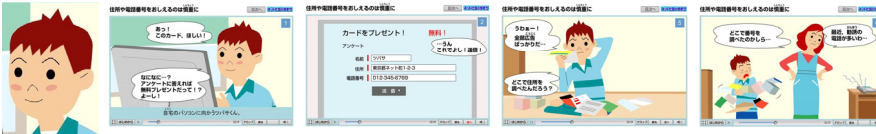
7 板書計画

めあて

どうすればインターネットを安全に利用できるか考えよう。

まとめ

ルールを守れば、インターネットは安全に利用することができる。



ツバサくん

短冊	短冊	短冊	短冊	短冊	短冊	短冊	短冊	短冊	短冊	短冊	短冊	短冊
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

4年 組のルール

- ① 本当か確かめる
- ② こ人じょうほうを入れない
- ③ 困ったら大人に相談する
- ④
- ⑤